



令和6年新春経済講演会・賀詞交歓会を開催しました

令和6年1月10日(水)にグランパレー京岩にて15時から令和6年新春講演会、17時から賀詞交歓会を開催いたしました。

新春講演会では、伊藤聡子氏(フリーキャスター・事業創造大学院客員教授)に「地域から日本を変える!これからの企業のあり方」について講演をいただきました。

賀詞交歓会では「令和6年能登半島地震」で犠牲となら

れた方々のご冥福と被災された地域の一日も早い復興をお祈りし、黙とうをささげました。

交歓会は、押谷会長のあいさつの後、第63回商工会全国大会において、永年の会運営にご功績のあった4名の方々に全国連会長表彰伝達授与式を執り行いました。

引き続き、浅見宣義市長をはじめ、来賓より新年のご祝辞をいただいた後、参加者相互にご歓談いただき、有意義な時間となりました。



ミスタータイガース・掛布雅之氏を招聘し講演会を開催しました

令和6年2月7日(水)に湖北文化ホールにおいて、ミスタータイガース掛布雅之氏を招聘し「勝利のプレイブック: リーダーシップ戦略と人材育成術」をテーマに講演会を開催し、悪天候にもかかわらず予想を超える多くの方に参加いただきました。講演会では、選手時代や2軍監督時代のエピソードを交え、自身の技術向上への取組や、人材育成、組織づくり、コミュニケーションの大切さについてお話しいただき、参加者からの評価も高く盛会裏に終了することができました。

会長による

会員事業所インタビュー

第10回 中川絹糸株式会社 専務取締役 中川雄仁様



長浜市商工会広報誌「ファイト!・エイトアップ」では、頑張っておられる会員事業所を広く知っていただくために商工会長による会員事業所インタビューを企画しました。第10回目は「中川絹糸(株)」にお伺いしました。

今回は、中川絹糸専務取締役の中川雄仁様にお話を伺いました。中川様は代表取締役社長の御子息で、一旦社外へ就職されましたが、家業を継ぐため中川絹糸(株)へ入社され、現在は後継者として活躍されておられます。



創業当時の事など御社の歴史について

【押谷会長】 創業当時の社歴についてお話を聞かせて下さい。

【中川専務】 当社は現在日本で唯一の絹の紡績糸の糸を作る仕事をしております。絹には「生糸」と「紡績糸」の2種類があり、当社は創業当時より紡績糸を作っております。日本では1880年代から絹を紡績する仕事が始まりました。大正8年には、規格品の作り方が書かれた書籍が創刊されており、この書籍を教科書として規格品を製造する会社が国内にも100社以上ありました。

当社は創業当初より独自の技術を活かした特殊な製品や注文製造に対応した小ロット生産で糸を作っていたため、海外製品との価格競争を避ける事ができました。

また、アパレルブランドやデザイナーと直接取引をすることで、「和」から「洋」への転換にも成功し、徐々に同業者が廃業していく中でも、今日まで事業を継続する事が出来ました。紡績糸は、蚕の繭を針で解して綿にしてから撚り(より)をかけて糸にするため、空気を含んでいるので生糸と比較してボリューム感が出しやすい点が洋服に向いていたのではないかと思います。

創業して約80年ですが、現社長が4代目なので私は5代目になります。初代は早くに亡くなったため、初代の弟が2代目を引継ぎました。2代目は、機械の改造などが得意な方だったので、この時代にたくさんの技術開発が行われており、今でもその技術を活かした生産が行われています。3代目は私の祖父にあたります。

御社の事業内容(取り扱い商品)について

【押谷会長】 社長と直接お話しすると「シャネル」という言葉をよく聞きますが、シャネルさんとの経緯について教えてください。

【中川専務】 世界に流通しているシルクの紡績糸というと約90%が中国産で、日本産は1%にも満たないため、日本にシルクの紡績糸が残っていないと思われていたのですが、三宅一先生氏が2015年のパリコレで日本のシルクをテーマにしたコレクションを発表しました。その折には、当社の紡績糸や日本の生糸を交えた洋服が展示され、ヨーロッパの高級ブランド社であるシャネルの目に留まりました。ヨーロッパでも日本のモノづくりに対する信頼は高く、中国産より値段が高くて安定的に高品質な糸が買えるのであれば日本から買いたいという注文を頂き、三宅一先生の展示会をきっかけに当社の糸を使用いただくことになり数年が経過します。

御社の補助金などの支援活用について

【押谷会長】 「ものづくり補助金」や「事業再構築補助金」を活用されているようですが...

【中川専務】 現在、シルクの紡績は当社しか残っていないので、国内に紡績の機械を作ってくれるメーカーがなく、機械は中国がヨーロッパから購入するしかありませんでした。そこで、2015年に「日本の紡績やシルクの文化を守っていきたい」という思いで「ものづくり補助金」に申請したところ、以降4回連続で採択を受けることができ、機械のアップ



デートをしながら新しい糸を作り出すという点で補助金を活用してきました。

3年前に採択頂いた「事業再構築補助金」では新しい繊維の開発・生産をしていくための工場を新築しました。

また、これまでの補助金を活用して開発できたのが、家庭用洗濯機で洗えるシルクです。シルクは肌に優しく触り心地が良いのでインナーやTシャツなどを使って頂く事で最大限に魅力を発揮するのですが、ドライクリーニングでしかお手入れが出来なかった為、用途が限定されていました。しかし、洗濯機でも洗える事で日常的な衣服への展開が出来るようになり女性のインナーや靴下、寝装寝具などへの販路が拡大してきています。

これから実現していきたい取り組みや目標について

【押谷会長】 御社の今後の取り組みについて教えてください。

【中川専務】 今後の取り組みについてですが、シルクの紡績糸一本での事業展開は原料の事情や使用先の事情などで、今後は大きく展開していくことは難しいと考えています。

これを受け、地球環境に配慮された繊維の開発にも積極的に取り組んでいます。シルクを紡績するという技術は日本で当社しかないで、その技術が活かされることで当社独自の特徴や機能を持った繊維が出来るのではないかと期待しています。

当社も最近はメディアに取り上げていただく機会が増えてきたのですが、会社としてのPRが足りてない部分が多いと感じています。今後は情報発信を強化することによって、新たな商品開発や市場開拓の機会を増やしていきたいです。地域の方々にも、長浜から世界へ羽ばたくシルクを作っている企業があることを知って頂きたいと思っております。



玄関にて左より、立花広報委員長、押谷会長、中川雄仁専務取締役

【押谷会長】 今の時代だからこそこのこだわりを生かせれば面白い市場があるかもしれませんね。これからも、色々情報発信していきますので気軽に相談してください。

■事業所データ

- 住 所 : 〒526-0111 滋賀県長浜市川道町2481
- T E L : 0749-72-3535
- F A X : 0749-72-3667
- E-mail : silk@nakagawasilk.jp
- H P : https://www.nakagawasilk.jp/

新入会員紹介

長浜市商工会では新会員を募集しています。お知り合いの事業所で未加入の方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

事業所名	代表者名	業種	支部	部 会
税田電機	税田 幸男	建設業	特別	建設業
Fleur	狩野なおみ	飲食業	湖北	観光飲食業
DEEP BANK	柴田 純平	宿泊業	西浅井	サービス業

会員数



令和5年10月31日現在	1 2 6 8
増 減	+ 3
	- 1 4
令和6年2月29日現在	1 2 5 7

(敬称略)

青年部 新春講演会を開催

令和6年1月26日(金)に虎姫の魚作楼にて青年部新春講演会を開催しました。

講師には「初心者でもわかる! ChatGPT入門講座」をテーマに株式会社ネクストクリエイションのギラン・アンディ・プラダナ氏に登壇いただきました。

参加された部員は「ChatGPT等のAIを活用することで何が出来るのか?」「ChatGPTの可能性や使い方」「それぞれのビジネスでの活用例」などを学び、実践するなど熱心に取り組んでいただきました。



青年部 視察研修旅行

2月5日(月)・6日(火)の2日間にわたって愛知県のリニア・鉄道館、犬山城、トヨタ会館などの施設を見学してきました。参加された部員の方々は視察研修を通じて様々な分野のことを学び、また部員同士の絆もさらに深まりました。



女性部 未来創造事業で観光マップを制作しました!

令和2年の商工会合併を機に、長浜市の魅力を再発見するべく、女性部では観光マップの制作に取り組んできました。令和4~5年度は、旧伊香地域を対象に、観光地や地元の人のみ知るスポットをバスで周り、長浜市の魅力を新たに発見する機会となりました。

完成したマップは、女性部員の意見を取り入れながら、地元の方はもちろん、地域外の方も参考となる内容です。多くの方にマップを手にとっていただくと幸いです。

商工会ホームページにて、マップデータを公開しておりますので是非ご覧ください。



観光マップはこちら



奥琵琶湖パークウェイにて

日本政策金融公庫より感謝状をいただきました

「マル経融資」として親しまれる、小規模事業者経営改善資金融資制度の創設50周年を記念し、長浜市商工会は制度の普及と推進に寄与した功績が評価され感謝状をいただきましたのでご報告いたします。



人も、会社も、もっと元気に!

中退共済制度

- ◆ 掛金の一部を国が助成
- ◆ 掛金は全額非課税。手数料も不要
- ◆ 外部積立型なので管理が簡単
- ◆ パートさんの加入もOK



(独) 勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部
TEL.03-6907-1234 FAX.03-5955-8211

「FOOD STYLE Kansai 2024」に出展

令和6年1月24・25日にインテックス大阪で開催された「FOOD STYLE Kansai 2024」に滋賀県商工会連合会（長浜市商工会）として出展しました。

近畿圏内の外食・中食産業・小売業への販路開拓を目指す3会員事業所（㈱カネイ岡、百匠屋、㈱口ハス長浜）が参加され、各事業所はブースを訪れるバイヤーに対し熱心に商品説明と試食提供を行い、今後の受注獲得に向けて活動されました。（2日間の総来場者は23,789人）



サービス業部会・商業部会合同視察研修 ～リゾート定義を変える！ネスタリゾート研修～

2月20日（火）から一泊二日の日程で、サービス業部会・商業部会合同視察研修を実施しました。

一日目はネスタリゾート神戸にてB to Bマーケティング課ユニットヘッドの宮崎友宏様より、前身のグリーンピア三木からの現在に至るまでの経緯や広告宣伝の使い方、施設の維持などお話を伺いました。二日目は早朝より雨降りのため急遽予定を変更し、竹中重工道具館にて大工道具の変遷などを見学しました。



観光飲食業部会視察研修

「掛川東山世界農業遺産・掛川茶からおもてなしの心を学ぶ」

2月20日（火）観光飲食業部会では掛川東山世界農業遺産・茶草場農法茶の視察を行ない、㈱茶文字の里の杉山敏志氏からお話を伺いました。150年にわたる茶草場農法の作業工程と総面積130haもの茶畑処理にかかる時間と動力、「美味しいお茶」づくりへの思いに参加者一同感銘を受けました。視察の終わりには、丹精込めて作られたお茶のおもてなしも受けました。午後は、掛川城天守閣と江戸時代の城主の生活がうかがえる掛川城御殿を見学しました。



建設業部会・工業部会合同事業 視察研修 ～「VISON」視察・説明会ツアー～

3月15日（金）に2021年7月に日本最大級の商業リゾートとしてオープンした三重県の「VISON」へ、建設・工業部会合同事業として視察研修を実施しました。

観光施設として先駆的取り組みをされている「VISON」は、民間初認可のスマートIC直結施設で、敷地面積は東京ドーム24個分あり、10エリア70店舗の商業施設、ホテル、アクティビティを楽しむことができる施設です。日本最大級の商業リゾート施設の「VISON」を視察した後は、お伊勢さんと親しく呼ばれる「伊勢神宮内宮」を参拝し、日本古来の建築様式を見学しました。



令和6年能登半島地震による被害に係る義援金の募集にかかるご報告について

1月1日に発生しました「令和6年能登半島地震」にて犠牲となられた方々のご冥福と、甚大な被害を受けられた商工会関係者をはじめとする皆様にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

早々、全国商工会連合会に義援金受付口座が開設され、各商工会から県連合会のルートで一元的に募集を行うことが決定されました。2月1日付のメールマガジンにて義援金の受付をはじめ、事務局窓口で募金箱を設け募金受付を行いました。お預かりいたしました義援金は、2月22日に滋賀県商工会連合会の専用口座へお振込みさせていただきました。この場をお借りしてご報告させていただきます。ご協力いただきありがとうございました。



長浜市商工会 今後の予定

令和6年
5月17日(金)
通常総代会



※開催時間等につきましては、後日ご案内させていただきます。